

筑波大学原島研

できてる！

突然ですが……聴覚障害学生の皆さん！
ディスカッションに参加できていますか？

できてないかも…



聴覚障害学生：ディスカッションは話し手が変わったり、話してる人が重なったり、スピード感があって追いつけない…なかなか発言できません。

支援学生：支援する学生だって大変ですよ。ましてゼミなんかだと専門性も高かったりして、専攻が違ったりするとなかなか苦労します。

その他の学生：意外かもしれませんが、僕も気がついてますよ。支援の邪魔になる発言をしてないかなとか。でも、自分の勉強もあるし…

About 筑波大学

私たちの大学には約20名の聴覚障害学生が様々な専攻に在籍しています。

支援学生は100名ほどいて、PC通訳・手書き要約筆記・手話通訳等を実施しています。

というわけで、聴覚障害学生をはじめ、参加者全員にとって参加しやすいディスカッションの形を探しもとめています。

具体的には

- きこえる・きこえない、手話ができる・できない、様々な参加者の個性を受け入れ、かつ聴覚障害学生の内容理解を助け、みんなが積極的に参加できる環境をつくる。
- 支援学生やきこえる学生の負担を軽減し、ディスカッションの質を高める。

司会者の指名

- ☺ディスカッションにゆったりした間を作る
 - ↳ 情報支援がしやすい
 - ↳ 内容の理解がしやすい
- ☺聴覚障害学生が司会をする
 - ↳ 自分のペースにあわせて進められる
 - ↳ エンパワメントも！

発言者がボールを持つ

- ☺司会者がボールを管理する
- ☺ボールを持っている人しか話せないルール
 - ↳ 話者が一人になる
 - ↳ 話し手を見つけやすい
 - ↳ 情報支援がしやすい
 - ↳ 読話しやすい



グループウェア（サイボウズlive）の活用

- ☺事前に発表資料をネット上で共有する
 - ↳ 内容や用語等を活字で押さえておける
 - ↳ 予習によるディスカッションの深化
- ☺終了後に発表者がまとめを載せる
 - ↳ 発表内容の確認・補足
 - ↳ 間違っ理解の訂正

全員の手が届く位置にPCを設置

- ☺情報支援学生以外もテイクに参加する
 - ↳ 専門的な内容・用語の補足
 - ↳ 話者も画面を見て誤りを訂正

タブレットPCを持って話す

- ☺話者とPC通訳が同時に見える
 - ↳ 参加感を高める



お問い合わせ、ディスカッションのコツ等の、情報提供は……
筑波大学 人間総合科学研究科 障害科学専攻 田中佑一郎
e-mail : s1321360@u.tsukuba.ac.jp